

個人認定の手引き

Ver.6.3

2015年4月

特定非営利活動法人
実務能力認定機構（ACPA）

はじめに

特定非営利活動法人 実務能力認定機構（以下 ACPA と表記します）は、「実務に的確に対応できる人材」を育成することを目的として種々の認証・認定事業を行っています。

本書は個人のスキル認定を申請する人を対象としたものであり、次の手順や申請書類の記述方法などを説明しています。

- ① 認証講座の修了または認証検定試験の合格を以って、特定のスキルを身に付けたことを認定する
- ② 所定の職務を遂行するに十分な実務能力を身に付けたことを認定する

本書をよくお読みになり、ACPA 認証講座/認証検定試験を活用することでみなさんがスキルアップなされることを期待しております。

ACPA = Accreditation Council for Practical Abilities

個人認定の手引き 目次

1. ACPA 個人認定とは.....	3
1. 1 個人認定の目的と定義.....	3
1. 2 個人認定の位置付け.....	3
1. 3 個人認定のメリット.....	4
1. 4 個人認定.....	4
2. ACPA 認定プロセス.....	5
2. 1 認定プロセスの概要.....	5
2. 2 スキル認定の審査項目.....	7
2. 3 スキル認定証明書.....	8
2. 4 認定情報と各種サービス.....	10
3. 申請書類記入例.....	12
3. 1 新規 ACPA メイト登録入力例.....	12
3. 2 スキル認定申請書兼「スキル認定証明書」発行依頼書 記入例.....	13
3. 3 ACPA 認証講座/認証検定試験検索（講座／検定試験番号検索）.....	14
4. お問い合わせ先.....	14

1. ACPA 個人認定とは

1. 1 個人認定の目的と定義

個人認定とはプロフェッショナルとして、ビジネスにおける職務遂行能力（ACPA が定義する職種専門分野の実務能力）を修得していることを保証することを目的とし、ACPA が定義する実務能力やその要素であるスキルを十分保持することを証明するものです。

1. 2 個人認定の位置付け

個人認定は他の認証・認定制度（講座提供/実施機関認証、講座認証、検定試験提供/実施機関認証、検定試験認証）と密接に連携し、個人の実務能力を認定する条件となります。

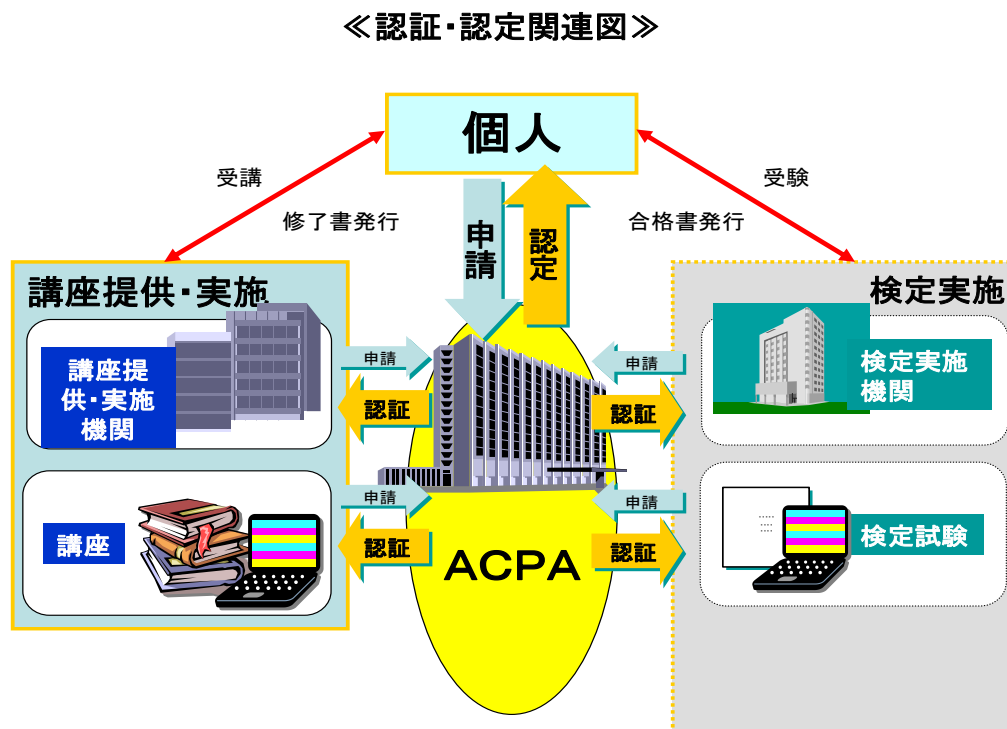


図1 認証・認定関連図

●講座／検定試験提供機関登録/認証

：講座／検定試験を提供する会社・組織等が「認証された講座／検定試験」の質を保持し、継続的に提供できる機関であることを認証するものです。

●講座／検定試験実施機関登録/認証

：認証講座/認証検定試験を実施し、講座の修了または検定試験に合格した個人に対し、修了書または合格書の発行や ACPA 個人認定のために ACPA への協力が可能であることを認証するものです。

●講座認証/検定試験認証

：講座や検定試験が実務能力を保持しているかどうかの判定に有効であることを認証するものです。

1. 3 個人認定のメリット

ACPA のスキル認定を受けることにより、本人のスキル習得状況について第三者からの証明を得たこととなります。また、ACPA が提供する職種ガイドラインを参考に必要なスキルの認定を1つ1つ積み重ねていくことで、自分の目指す職種にとって必須となるスキルを身に付けていくことができます。

その努力の成果を評価し裏付けていくのが ACPA の個人認定です。就職あるいは転職の際にこうしたスキルを保持していることを明示できれば、大きなアピールとなります。

1. 4 個人認定

◆スキル認定とスキル認定証明書

実務能力基準表の指標により、所定の ACPA 認証講座／検定試験を修了・合格し、そのスキルが保証された際に認定されるものです。ACPA の認証を受けた講座／検定試験の修了者／合格者は、講座／検定試験ごとに示されたスキル項目レベルを記載した「スキル認定証明書」を取得することができます。修了者／合格者は、「スキル認定証明書」を履歴書や職務記述書に添えて、第三者に公正にアピールするためのツールとして活用することが可能です。

◆スキル認定証明書 発行手順

スキル認定証明書を取得するには、事前の ACPA メイト登録が必要です。(『2.スキル認定プロセス』参照)

ACPA メイト登録がまだの方	手順	ACPA メイト登録が済んでいる方
AcPASS サイト『新規 ACPA メイト登録』から ACPA メイト登録を行ってください。 https://acpass.acpa.jp/acpass/acpa_mate.php	① ACPA メイト登録	必要なし
スキル認定申請書 兼 『スキル認定証明書』発行依頼書を AcPASS からダウンロードし、作成する。	② 申請書式のダウンロード	スキル認定申請書 兼 『スキル認定証明書』発行依頼書を AcPASS からダウンロードし、作成する。
必要書類内容および提出方法は②の発行依頼書に記載している注意事項をご確認ください。	③ 必要書類の提出	必要書類内容および提出方法は②の発行依頼書に記載している注意事項をご確認ください。
以下の A)B)をお支払ください。 A) ACPA メイト登録料 ¥1,000- B) 証明書発行手数料 ¥1,000-/通 (同時発行の場合に限り 2 通目以降 ¥500-)	④ 料金の支払い	以下をお支払ください。 証明書発行手数料 ¥1,000-/通 (同時発行の場合に限り 2 通目以降 ¥500-)
三菱東京 UFJ 銀行 江戸川橋支店 普通)1103626 トクヒ)ジツムノウリョクニンテイキコウ * 振込手数料はご負担願います。	[振込先]	三菱東京 UFJ 銀行 江戸川橋支店 普通)1103626 トクヒ)ジツムノウリョクニンテイキコウ * 振込手数料はご負担願います。
証明書は受付後、約 1 週間程度で発行(郵送)されます。 お急ぎの場合は窓口にて受け取ることも可能です。 申請時にその旨お申し出ください。	⑤ 証明書の発行と受領	証明書は受付後、約 1 週間程度で発行(郵送)されます。 お急ぎの場合は窓口にて受け取ることも可能です。 申請時にその旨お申し出ください。

2. ACPA 認定プロセス

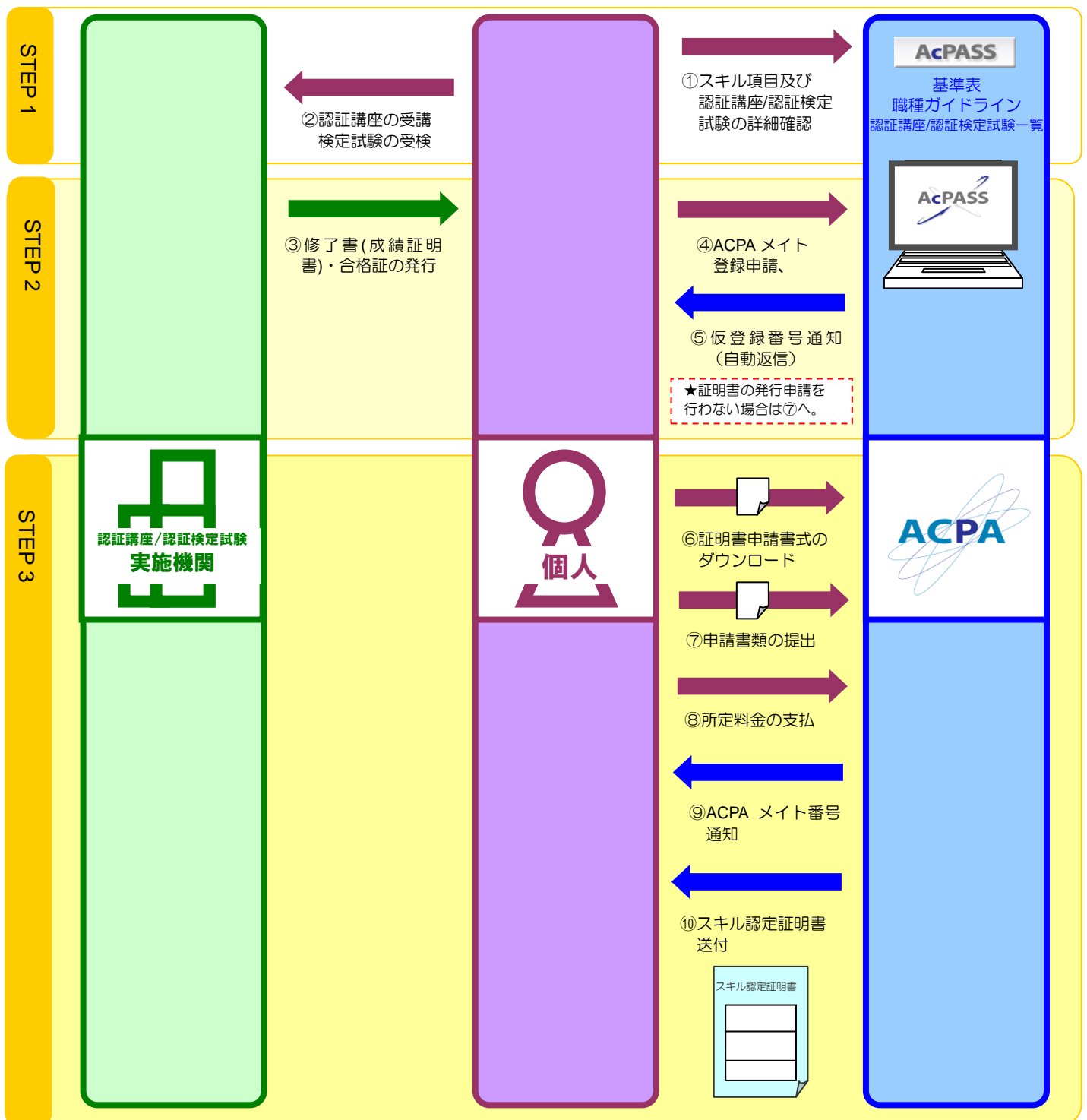
2. 1 認定プロセスの概要

スキル認定のプロセスは以下の図のように3つのSTEPからなります。

STEP1: 必要なスキルを習得するための ACPA 認証講座/認証検定試験を受講/受検し、修了/合格します。

STEP2: ACPA メイトへ登録します。ACPA メイト登録情報は、スキルの認定およびスキル認定証明書の発行のための基本情報となりますので事前登録は必須条件です。

STEP3: 講座の修了証明書(成績証明書)/検定試験の合格証明書を添付し、スキルの認定およびスキル認定証明書の発行を依頼すると同時に、所定の料金を銀行口座へ振り込みます。スキル認定証明書の発行は任意です。証明書の発行はスキル認定後、改めて申請することも可能です。



【STEP1：認証講座/認証検定試験の確認と受講】

- ① AcPASS サイト (<http://acpass.acpa.jp/>) を閲覧し、目指す職種、職務等に必要なスキルを確認し、そのスキル修得可能な認証講座/認証検定試験を確認します。
- ② 講座/検定試験実施機関で該当する認証講座/認証検定試験を受講/受検します。
- ③ 講座を修了（修了基準に合格）/検定試験に合格すると、実施機関より修了書または成績証明書（修了証明書）/合格証明書が発行されます。

【STEP2：ACPA メイト登録申請】

- ④ ACPA メイトへの登録申請は AcPASS サイトの Web 画面から必要事項を入力して行います。
 ※ ACPA メイトへの登録は、認証講座/認証検定試験の修了/合格の前後どちらでも可能です。
 ※ 「ACPA メイト登録・変更申請書」による申し込みも受け付けています。
 【注意】 ACPA メイトの登録内容に事実とは異なる情報を登録したことにより生じる不具合（正確な本人確認ができずスキルが認定できない等）について、ACPA は一切の責任を負いません。

【STEP3：申請書類の提出および料金の支払】

- ⑤ AcPASS サイトから『スキル認定申請書兼「スキル認定証明書」発行依頼書』をダウンロードします。
- ⑥ 申請書を記入の上、以下の必要書類一式を ACPA 事務局（個人認定担当）宛に郵送または窓口へ直接持参にて提出します。

【必要書類】

- 1) スキル認定申請書兼「スキル認定証明書」発行依頼書 1部
- 2) 修了書(成績証明書)または合格書のコピー 1部
- 3) 返信用封筒（長型3号・宛名記載）に82円切手を貼付したもの 1部（注1）
- 4) WeTEC スコアの受検結果をプリントアウトしたもの 1部（注2）

（注1）スキル認定証明書が不要の場合、返信用封筒は必要ありません。その旨申請時にお申し出ください。
 また、証明書は依頼書を事務局で受理してから約1週間程度で郵送されます。お急ぎの方は窓口にて直接受け取ることも可能です。ご希望の方は申請時にその旨お申し出ください。

（注2）英語科目（Tutorial English）のスキル認定申請の場合のみ必要になります。

（注3）記載内容に不備があった場合は、お返す場合もございます。

（注4）ACPA メイト登録時に申請した申請者情報（住所・氏名・メールアドレスなど）に変更が生じている場合には、必ず AcPASS の ACPA メイトサービスにログインし、会員情報照会/変更より変更を行った後、変更後の内容を申請書に記載してください。スキル認定につき書類不備、確認事項などがある場合、事務局から連絡する場合があります。

- ⑦ ACPA メイト登録料（¥1,000-）およびスキル認定証明書発行手数料（¥1,000-/通）を、ACPA 指定口座へお振り込みください。（お支払先口座は P.14 参照）

○お支払金額例 *登録料=ACPA メイト登録料
 ACPA メイト登録と同時に証明書を（1通）発行する場合：¥2,000- [登録料+発行手数料（1通）]
 ACPA メイト登録のみで証明書を発行しない場合：¥1,000- [登録料]

- ⑧ 所定料金の入金確認後、ACPA メイト登録情報および申請書類に基づき、スキルの認定と証明書の発行を行います。
- ⑨ 認定されたスキルは、ACPA のデータベースに登録されます。
 ACPA メイトはいつでも AcPASS サイト (<http://acpass.acpa.jp/>) から、ご自分の PC で自分のスキル認定履歴、講座の受講履歴を照会し、証明書のイメージでプリントアウトすることができます。（但し、IT系・ビジネス系のみのサービスとなります。）

個人認定の手引き

2. 2 スキル認定の審査項目

スキル認定の主な審査項目は、以下の点です。

- 認証講座/認証検定試験の修了/合格時期：
講座の修了または検定試験の合格から 5年以上経過した講座/検定試験の認定申請はできません。
- 認定範囲の確認：
申請書類<修了書(成績証明書)または合格書の提示)で、申請された講座/検定試験と認定できるスキルが正しく記載されているかを確認します。

また、講座修了書もしくは講座成績証明書、検定試験における合格証などの有効性の確認を講座実施機関および検定試験実施機関に問い合わせることもあります。

(注1) ACPAの個人認定は、原則として講座認証/検定試験認証をされた年度より認定を認めます。
ACPAより講座認証/検定試験認証をされる以前に受講修了した者、または検定試験の合格者の個人認定は認めません。

2. 3 スキル認定証明書

スキル認定と同時にスキル認定証明書を発行します。

① 表示するスキル小項目について

- ・氏名：認定する個人を特定する情報です。
- ・ACPA メイト番号：ACPA メイト登録の際に付与される個人を特定する番号です。
ACPA の Web サイトに入る ID としても活用されます。
- ・スキル名称：認定されたスキル小項目が明示されています。

② 表示される小項目の形式について

【IT・ビジネス・英語単独科目のスキル認定証明書に表示されるスキル小項目の形式】

今までに認定されたスキル小項目が一括表記（重複しているものも全て表記）されます。

複数講座／検定試験を受講／受検した場合、習得できる小項目は重複している場合があります。

IT・ビジネス・英語単独科目のスキル認定証明書は日本語表記のみとなります。

<IT・ビジネス系 スキル認定証明書のイメージ>

ACPA

スキル認定証明書

ACPAメイト番号 SK-1111-1111-AA
氏名 実務 太郎 様

貴方は、実務能力認定機構が認定した講座において下記のスキルを修得し、認定されたことをここに証します。

2011年8月1日
特定非営利活動法人 実務能力認定機構
理事長 寛 捷彦

スキル名称	習熟度	講座名称 / 講座実施機関名称	修了年度
パーソナルスキル> コミュニケーション			
インタビュー	1	BISCUIT ビジネス実務講座 阪大企画 株式会社 シムピキ	2006
パーソナルスキル> マネジメント			
マネジメント手法・理論	2	企業実務特論:マーケティングバージョンアップ 株式会社 早稲田総研インターナショナル	2006
システム基礎> OS			
UNIX/Linux(システム管理)	2	企業実務特論:マーケティングバージョンアップ 株式会社 早稲田総研インターナショナル	2006
システム基礎> サーバアプリケーション			
Webサーバ	2	企業実務特論:マーケティングバージョンアップ 株式会社 早稲田総研インターナショナル	2006
Mailサーバ	2	企業実務特論:マーケティングバージョンアップ 株式会社 早稲田総研インターナショナル	2006
DNSサーバ	2	企業実務特論:マーケティングバージョンアップ 株式会社 早稲田総研インターナショナル	2006
SMBサーバ	2	企業実務特論:マーケティングバージョンアップ 株式会社 早稲田総研インターナショナル	2006
NFSサーバ	2	企業実務特論:マーケティングバージョンアップ 株式会社 早稲田総研インターナショナル	2006
データベース> データベースシステム概要			
データベースの基本機能	2	データベース I: SQL入門 (2006年度) 早稲田大学メディア・ネットワークセンター	2006

※習熟度の基準は以下のとおりです。
1: スキル項目について基本的な内容を概観・理解している
2: スキル項目について詳細な内容を深く理解している
3: スキル項目について実践に応用できる高度な内容を理解・習得し、実際に活用できる
※記載されたスキルの詳細については ACPA 実務能力基準情報サイト (<http://acpass.acpa.jp>) をご参照ください。
※講座名称は、完全には表示されていない場合があります。予めご了承ください。

1/2 Accreditation Council for Practical Abilities

(注1) 今までに認定されたスキル小項目のうち、重複したものは未表示にて表記する、または「IT関係のスキルのみ表示したい」など、使用目的に合わせた内容で証明書を発行することもできます。

ご希望の場合は申請時にお申し出ください。特にお申し出のない場合は一括表記します。

(注2) 語学（英語）科目のスキル認定証明書は2種類あります。

・「科目が修了したらすぐ申請できる証明書」

1科目でも申請可能。WeTEC 不要。日本語表記。修得したスキル内容を証明。

・「各レベルの条件を満たすと申請できる証明書」（条件はp9参照のこと）

レベルにより2科目以上の修了が必要。WeTEC 要。英語表記。CEFR に応じ英語の活用レベルを証明。

【語学（英語）関連科目系のスキル認定証明書に表示されるスキル小項目の形式】

語学関連科目系の「スキル認定証明書」につきましては、英文表記のみとなります。

【証明書の発行条件】

語学関連科目系の認証はレベルに応じて以下の条件がありますのでご注意ください。

★証明書取得には、それぞれの Certified Level 内の項目をすべて満たすことが必要です。

レベル	取得条件	
1) Certified Level : Basic User	2008 年度以降に受講修了した講座が対象です。	① General Tutorial English（初級）の修了 ② レッスン期間後に受検する WeTEC のスコアが 573 点以上あること
2) Certified Level : Independent User (Pre-Intermediate)	2008 年度以降に受講修了した講座が対象です。	① General Tutorial English（準中級）の修了 ② レッスン期間後に受検する WeTEC のスコアが 608 点以上あること
3) Certified Level : Independent User (Intermediate)	異文化交流実践講座は、2010 年度以降に受講修了した講座が対象です。	① General Tutorial English（中級）の修了 ② 異文化交流実践講座の修了 ③ レッスン期間後に受検する WeTEC のスコアが 608 点以上あること
4) Certified Level : Proficient User (Pre-Advanced)	Discussion Tutorial English（中級または上級）は、2009 年度以降に受講修了した講座が対象です。	① General Tutorial English（準上級）を修了し、「A」以上の成績を取得 ② Discussion Tutorial English（中級または上級）を修了し、「A」以上の成績を取得 ③ GTE(準上級)のレッスン期間後に受検する WeTEC のスコアが 800 点以上あること
5) Certified Level : Proficient User (Advanced)	Advanced English plus は、2009 年度以降に受講修了した講座が対象です。	① General Tutorial English（上級）を修了し、「A」以上の成績を取得 ② Discussion Tutorial English（上級）または Advanced English plus を修了し、「A」以上の成績を取得 ③ GTE(上級)のレッスン期間後に受検する WeTEC のスコアが 880 点以上あること

<語学（英語）系スキル認定証明書のイメージ>



2. 4 認定情報と各種サービス

認定されたスキルの情報は ACPA のデータベース上に登録され、それらを基に以下のサービスが利用できるようになります。

① ACPA のスキルアップ支援サイト AcPASS(<http://acpass.acpa.jp/>)

ACPA メイトに登録することで発行される、ACPA メイト番号、及び、登録申請時に設定したパスワードを入力することで、ACPA メイトサービスにログインすることができます。

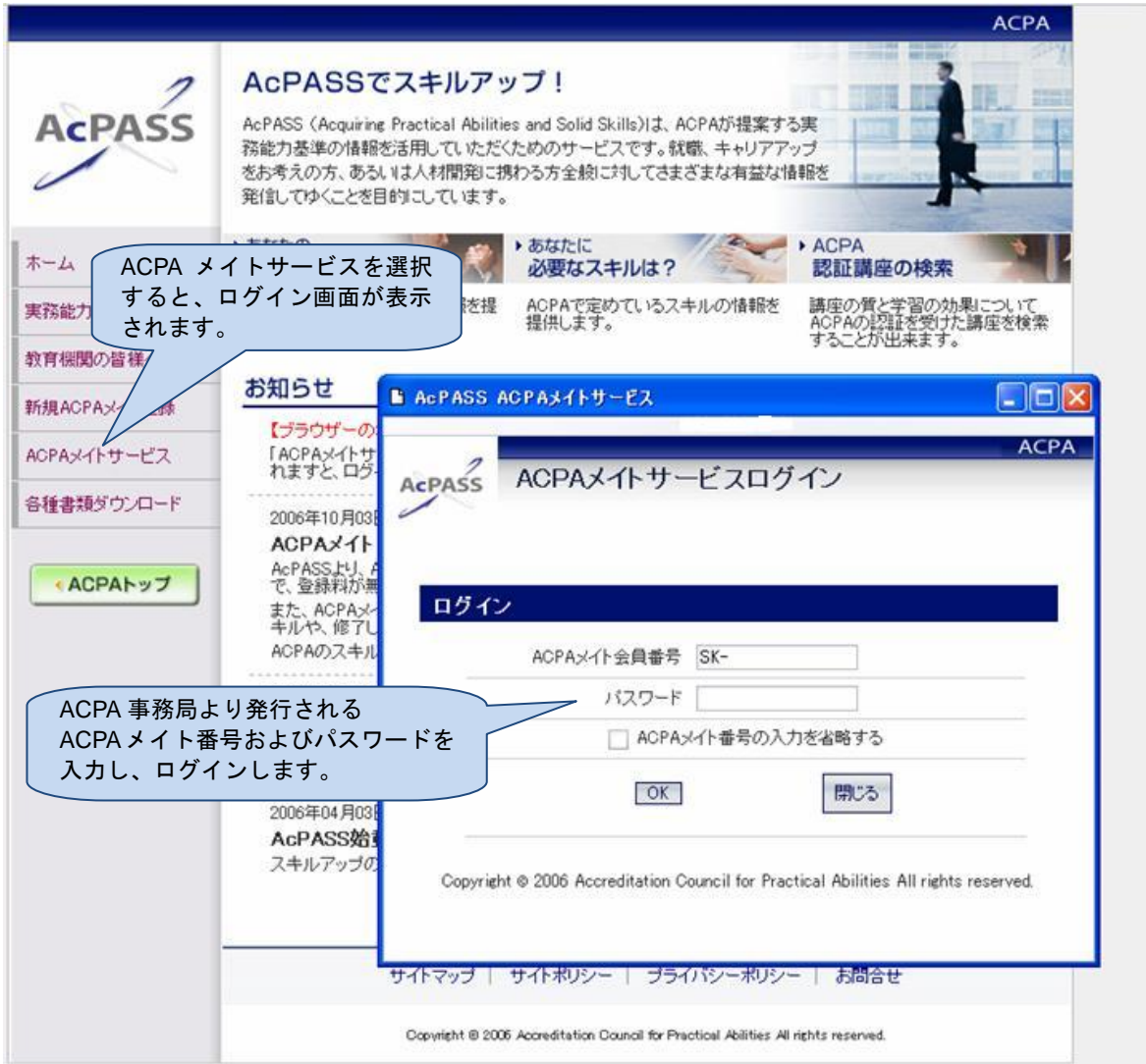


図4 AcPASS の画面 (<http://acpass.acpa.jp>)

AcPASS の ACPA メイトサービスでは、以下のことが可能です。

1) 登録情報の照会/変更

登録してある、住所、電話番号、メールアドレス、ニュースレターの配信希望設定、パスワードを変更することができます。

※氏名、生年月日は変更できません。

2) 認定内容の照会 (IT・ビジネス系のみ)

今までに、ACPA に認定を受けたスキル、および、そのスキルを修得するために受講した ACPA 認証講座／検定試験を照会し、証明書のイメージでプリントアウトすることができます。

また、照会画面を、印刷用に証明書のイメージにして、ご自宅等のプリンタより印刷することができます。

※ただし、印刷したものは、自己の責任に基づいて使用するものであり、本人の能力を ACPA が公式に証明した書類ではありませんので、ご注意ください。

② スキル認定証明書の発行

スキル認定証明書は、実務能力の認定を受けたことを証明する書類です。

今まで認定されたスキルを集約して一つの証明書に表示させることができます。

※他にも AcPASS において、下記の情報を公開しています。

(1) 実務能力基準表

- ・ ACPA で認定を行っているスキルの詳細情報
- ・ ACPA が定めている職種の詳細定義
- ・ 各職種にどのスキルがどの程度必要かといった情報 (スキルマトリクス)

(2) ACPA より認証を受けた講座／検定試験の検索

修得できるスキル、対象としている職種をキーワードに検索することができます。

認定を受けた自分のスキル、AcPASS の情報をもとに、自分のキャリア形成のための地図を描く支援を、ACPA は今後も拡大してゆきます。

3. 申請書類記入例

3. 1 新規 ACPA メイト登録入力例

AcPASS の「新規 ACPA メイト登録」メニューより、ACPA メイトへの登録申請をすることができます。

<新規 ACPA メイト登録（入力例）>

The screenshot shows the '新規ACPAメイト登録' (New ACPA Mito Registration) form. The form includes the following fields and callouts:

- 氏名(姓)※**: 実務 (Name) **(名)※**: 太郎 (Surname) **(名)※**: 太郎 (Given Name)
- フリガナ(姓)※**: ジツム (Name) **(名)※**: タロウ (Surname) **(名)※**: タロウ (Given Name)
- 生年月日※**: 1984 / 04 / 01
- 郵便番号**: 1620045 (Callout: 郵便番号は”-“を入れずに7桁の半角数字で入力してください。)
- 都道府県**: 東京都
- 住所1(市町村番地)※**: 新宿区馬場下町5 (Callout: 住所は、番地等の数字も含めて、全角文字で入力してください。)
- 住所2(建物)**: 早稲田駅前ビル3階
- 電話番号※**: 03-5273-9127
- 会社・学校・所属**: 実務大学実務学部 (Callout: 勤務している会社・部署、学生の場合は学校名・学部名等を入力してください。)
- e-mailアドレス※**: xxx@acpa.jp
- e-mailアドレス確認※**: xxx@acpa.jp
- パスワード※**: ●●●●●● (6文字以上、15文字以内の半角、英数字、記号で入力してください。)
- パスワード確認※**: ●●●●●●
- ACPAから配信されるニュースレターの受信を希望しない

Buttons at the bottom: 前画面に戻る, 入力を消去, 確認. Footer: ページの先頭へ戻る, サイトマップ | サイトポリシー | プライバシーポリシー | お問い合わせ, Copyright © 2006 Accreditation Council for Practical Abilities All rights reserved.

3. 2 スキル認定申請書兼「スキル認定証明書」発行依頼書 記入例

注意事項

××××年××月××日

スキル認定申請書 兼「スキル認定証明書」発行依頼書

実務能力認定機構理事長 殿

依頼者	ACPA メイト番号 (仮登録番号)	*****	E-mail	
	氏名	実務 太郎	緊急連絡先 (携帯電話など)	090-0000-0000
	フリガナ	ジツム タロウ	【大学生の場合】 大学名・学部	●●大学 文学部
	ローマ字	TARO JITSUMU	学年	4年
	生年月日	同封する証明書用返信用 封筒にも宛名のご記入を お願いします。	【社会人の場合】 会社名・部署	
	住所 (証明書の郵送先)			

- 【注 1】 ACPA メイト登録時に申請した申請者情報（住所・氏名・メールアドレスなど）に変更が生じている場合には、必ず AcPASS の ACPA メイトサービスにログインし、会員情報照会/変更より変更を行った後、変更後の内容を申請書に記載してください。（スキル認定につき確認事項などがある場合、事務局から連絡する場合があります。E-mail アドレスは、間違いがないかよく確かめ、必ずご記入ください。）
- 【注 2】 上記個人情報、この書類に限り有効とします。

下記の ACPA 認証講座（検定試験）を修了（合格）しておりますので、修得したスキルの認定と共にスキル認定証明書

ACPA 講座/検定試験番号の確認方法は p.14 をご確認ください。

修了から5年以内に申請してください。

ACPA 講座/検定試験番号	講座名/検定試験名	講座/検定試験実施機関	修了年月
CL-0606-025c	ネットワーク技術 I 基礎	実務大学	2010年7月

【連絡欄】

- 語学（英語）科目の証明書発行依頼者は、発行を希望する証明書にチェック☑ください。
 - ACPA 英語単独科目スキル認定証明書 ※科目を修了することで発行を依頼することができます
 - ACPA 英語関連科目スキル認定証明書 ※各英語活用レベルに定められた条件を満たす必要があります
- その他、連絡事項や要望等ございましたらご記入ください。
 - ・証明書が不要の場合はここに記入してください。（その場合【必要添付書類】の中の4）返信用封筒 は必要ありません。）
 - ・スキル小項目の表示方法について指定等があればここに記入してください。

【必要添付書類】

本依頼書と併せて以下のものを提出してください。

※提出先および注意事項は次頁に記載していますので必ずご確認ください。

- 該当講座/検定試験の修了書(成績証明書)/合格証明書 コピー 1部
- 証明書返信用封筒（長型3号：235mm×120mm・宛先明記）に82円切手を貼付したもの
- WeTEC スコアのプリントアウト 1部
※語学（英語）系科目（Tutorial English）で申請をする場合のみ必要となります。

3. 3 ACPA 認証講座/認証検定試験検索（講座／検定試験番号検索）

例：実施機関から検索する場合

4. お問い合わせ先

ご不明な点は以下までお問い合わせください。

- ・ お問い合わせ、申請書類等の提出先

特定非営利活動法人 実務能力認定機構（ACPA）
 住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-12 大隈スクエアビル 2 階
 TEL：03 - 5273 - 9127 FAX：03 - 3203 - 4613 E-mail：pcert@acpa.jp
 ※お問い合わせは土日祝日を除く平日の 9:30 から 17:00 までお願いいたします。
 e-mail でのお問い合わせは 24 時間受け付けておりますが、お答えするのは
 翌営業日以降になりますことを、ご了承ください。

- ・ ACPA メイト登録料およびスキル認定証明書発行手数料の支払先

【銀行振込先】
 三菱東京UFJ銀行 江戸川橋支店 普通) 1103626
 トクビツム/リョクニソテキコ
 特定非営利活動法人 実務能力認定機構
 * 振込手数料はご負担願います。